

2023

8月号
Vol.89

担い手 サポートセンター

通信



写真上：JAなすの 二又 拓人 さん
写真下：リゾケアフィールドツアーの様子

CONTENTS

サポートセンター情報	頑張る担い手インタビュー !!	2	生産振興情報	加工・業務用たまねぎ出荷者募集	10
サポートセンター情報	営農・経済担当者研修会の開催	3	園芸情報	とちぎの花を飾ろう！	11
サポートセンター情報	Z-GIS で効率的な事業承継を	4	肥料情報	腐植酸液状複合肥料	12
中央会情報	飼料用米を生産する皆さんへ	5	農薬情報	斑点米の原因となるカメムシ対策	13
共済連情報	農業者賠償責任共済	7	農業機械情報	農作業中の熱中症を予防しましょう	14
米麦情報	お米は大切な商品です	8	生活情報	日焼け防止専用マスク ヤケーヌ	15
米麦情報	稲大豆の技術対策(8月)	9	野生を食べる／編集後記		16

頑張る担い手インタビュー!!

▶ 那須塩原市 関谷
二又 拓人さん (28)
作物：なす (15a) ねぎ (45a)
就農年数：5年目



▶ 就農までの経緯を教えてください。

以前はアパレル関係で働いていました。祖父が農業を続けられなくなり、荒れてしまった土地を何とかしたいという思いで就農を決意しました。栽培する作物を考える中で、初期費用が比較的少ないなすの栽培を農協から勧めていただきました。現在はなすの他にねぎの栽培も行っています。

▶ 栽培のこだわり・モチベーションを教えてください。

関谷（地域）は寒暖差が大きく、冬は積雪がある為、ほかの地域よりも早く収穫が終わってしまいます。しかし、その気候こそが他にはない味・品質になるメリットだと思っています。風害や獣害もありますが、対策を行いながらこの地域で頑張っていきたいです。自分が栽培したものを食べて「美味しい」と言ってもらえることがモチベーションになっています。これからも頑張ろうと思いますし、もっとたくさんの人に食べてもらいたいです。



▶ 就農して感じた農業の魅力は何ですか。

家族との繋がりでです。現在は母と二人で経営をしています。母は祖父の農業を手伝っていたので、農作業については母から教わる部分も沢山あります。週末になると兄も手伝いに来てくれるので、農業による家族の繋がりを感じます。



▶ 今後の目標を教えてください。

まずは収量を上げ、いずれは作物も増やしていきたいです。農協の担当の方も皆さん優しく、バックアップしてくれるので助かっています。少しでも多くの方に自分が栽培した作物や関谷について知ってもらうために、SNS等での繋がりを通して農業・地域を活性化していきたいです。

お話を聞く中で、二又さんの家族や地域に対する愛情を感じました。本日はお忙しい中、ありがとうございました。



営農・経済担当者人材育成研修会
～リゾケアXLフィールドツアーの開催～



2023年7月27日（木）営農・経済担当者人材育成研修会～リゾケアXLフィールドツアー～を開催しました。

研修会は、省力化技術の普及・理解促進を目的としてJAうつのみや管内でリゾケアXLフィールドツアーを行いました。リゾケアXLとは、シンジェンタジャパン（株）が提供する「水稻湛水直播向けコーティング処理済み種子」で、2021年より栃木県内でも作付けが始まりました。



研修会には営農・経済担当者他30名が参加しました。シンジェンタジャパン（株）担当者よりリゾケアXLについて、JAうつのみや担当者からうつのみや管内でのリゾケアの取組みについて説明があり、実際に栽培に取り組んでいる生産者圃場の視察を行いました。現地を視察した参加者からは圃場・播種・除草・収穫等について質問があり、担当者同士の意見交換も行われました。実際に栽培している生産者からは、「今年の収量を踏まえて、規模を拡大していきたい」といった前向きな意見がありました。



今後も研修会の開催を通じて省力化技術の普及・推進に取り組んで参ります。

お知らせ

【JAグループ栃木担い手サポートセンター 公式LINEアカウント】

担い手の皆様の情報発信を目的に2018年9月に開設した当アカウントは、7/28（金）現在 登録者1,115名となっています。

引き続き担い手の皆様の役に立つ情報を配信していきますので登録をお願いいたします。

■登録は右のQRコードからお願いいたします■





で効率的な事業承継を。

Z-GISとは、地図上の圃場の形に合わせて作成したポリゴンとExcelで管理した圃場の情報を紐づけて管理するクラウド型の営農管理システムです。これまで白地図やノートで管理していた圃場情報をデジタル化し、クラウドにデータを補完することによって、1つのファイルを複数人で管理することができます。

これまで勘や経験で管理してきた圃場情報や紙媒体で管理していた圃場の位置情報を、Z-GISを使うことでPC上で一元管理することができます。また、クラウドの利用により、膨大な管理データを蓄積し、後継者に効率的に引き継ぐことができます。

圃場情報の見える化が可能

画面上で圃場ごとに品種名のプロットやデータごとの色分けをすることで、視覚的に圃場の情報を見分けることができます。

作業管理情報の蓄積

毎年の作業履歴をはじめ、積算温度・防除履歴などの記録を残すことで経営の営農情報を円滑に承継することができます。



実際の圃場の位置関係を把握

電子地図上にて圃場の位置を登録することで、保有する圃場を一目で把握することができます。

膨大な情報をクラウド上で管理

栽培管理に係る膨大な情報を、セキュリティの高いクラウド上で安全に管理することができます。

飼料用米を生産する皆さんへ

多収品種(飼料用)で飼料用米に 取り組み所得確保を目指しましょう!

「水田活用の直接支払交付金」の飼料用米支援方針の見直しに伴い、
令和6年産以降、一般品種への支援水準が変わります
(あさひの夢 等)

	令和5年産	6年産	7年産	8年産
多収品種	従来どおりの支援 (数量に応じて、5.5~10.5万円/10a(標準単価8万円))			
一般品種	5.5~10.5万円/10a (標準単価8万円/10a)	5.5~ 9.5 万円/10a (標準単価 7.5 万円/10a)	5.5~ 8.5 万円/10a (標準単価 7 万円/10a)	5.5~ 7.5 万円/10a (標準単価 6.5 万円/10a)



皆さんの所得確保のため

本県では、次の2つの多収品種
による取組を推進します

夢あおば

月の光

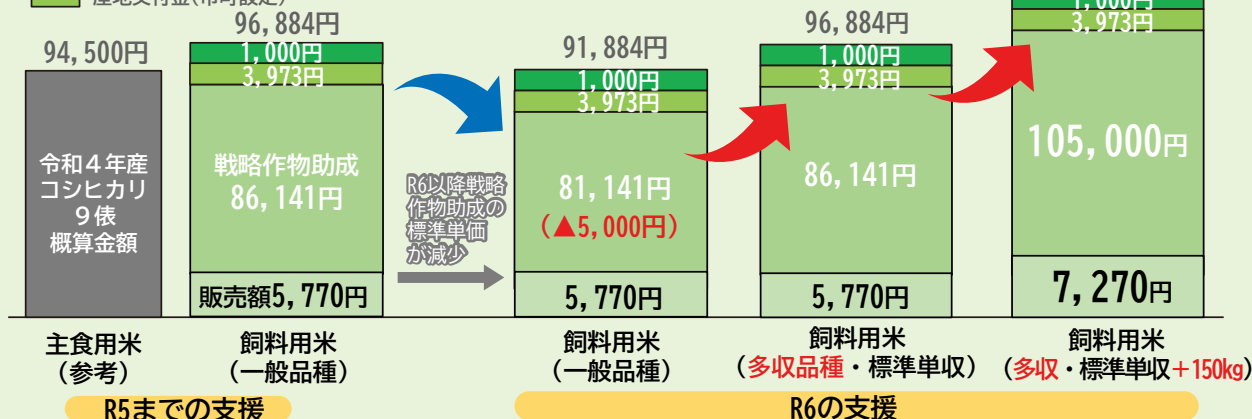


- ★ 単位面積あたりの収量が多く、収入(販売額、交付金)の増加が見込まれます
- ★ 堆肥の活用や直播栽培等の低コスト化技術と組み合わせることで、経費を削減し、所得向上が見込まれます

10aあたりの収益イメージ

※産地交付金(市町設定)は令和4年産の県内平均設定額で、市町によって設定の有無、単価が異なります。
※戦略作物助成86,141円はR3本県交付額実績です。
※飼料用米の販売額は10円/kgで算出しています。

■ 産地交付金(県設定)
■ 産地交付金(市町設定)



多収品種の特徴

「夢あおば」

- 耐倒伏性は“極強”で、穂発芽性は“中”
- 縞葉枯病抵抗性
- ◆ 穂数が少ない
- ◆ 倒伏する場合は挫折倒伏になりやすい



「月の光」

- 耐倒伏性は“中”で、穂発芽性は“やや難”
- 縞葉枯病抵抗性
- ◆ 倒伏する場合は挫折倒伏になりやすい



品種名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂数 (本/m ²)	精玄米重 (kg/10a)	千粒重 (g)
夢あおば	7.23	9.10	89.3	346	791	24.8
月の光	8.11	9.30	88.8	377	624	21.7
(参考)あさひの夢	8.11	9.21	83.0	373	649	21.3

※調査データは農業試験場調べ ※移植日はいずれの品種も5月上旬植え

栽培上の留意点

- 高単収のためには多肥条件が必要ですが、極端な多肥栽培では、倒伏やいもち病等の病害発生リスクが高まることから、地力に合わせた施肥を徹底しましょう。
- 多収品種はもみ量が多く、茎が丈夫であることから収穫作業時のコンバインへの負担が大きくなるため、収穫作業速度を落としましょう。



多収品種に係るお知らせ

- 「夢あおば」の展示ほを県内3JA(なすの、かみつが、おやま)に設置しています。展示ほを確認したい場合、JA等が開催する現地検討会へ参加ください。
- 令和6年産での多収品種(「夢あおば」と「月の光」)の作付に向け、令和5年産で約15,000haに対応できる種子を確保する計画です。
- 共乾施設で取扱いがない品種もありますので、使用する品種については、最寄りのJAにご相談ください。

問い合わせ

飼料用米助成制度について

栃木県農業再生協議会

栃木県農政部生産振興課 ☎ 028-623-2279

JA栃木中央会農業対策部 ☎ 028-616-8531

飼料用米の栽培技術について

最寄りの栃木県農業振興事務所 経営普及部

「夢あおば」の展示ほについて

全農とちぎ米麦総合課 ☎ 028-616-8821



どの写真にも、リスクがひそんでいます。
お気づきですか。

農業者賠償責任共済は、農業に関する幅広いリスクに備えられます。



①施設賠償

例えば、草刈作業で
小石がはねて
他人の車にキズが。



②保管物賠償

例えば、
借用していた耕運機が
保管中に盗難。



③生産物賠償

例えば、直売所で
販売した生産物で
お客さまが食中毒に。



④生産物回収費用

例えば、基準値を超える
残留農薬が検出され
同時期の出荷分を回収。

生産から出荷・販売後まで

農地面積と支払限度額による
分かりやすい共済掛金設定です。

加入例

所有または管理している農地面積が
3haの農業者の場合。

支払限度額3,000万円コース

年間10,120円

2023年4月時点



自動継続なので、
継続手続きが不要です。

共済金のお支払いには所定の条件があります。

※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。※この広告は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

はじめて共済



<https://shiryo.ja-kyosai.or.jp>

■JA共済ホームページ <https://www.ja-kyosai.or.jp>



本サイトから
「ひといえ・くるま」の
各共済の資料請求・
掛金試算ができます。

JA共済相談受付センター(JA共済連 全国本部)

☎ 0120-536-093

受付時間: 9:00~18:00(月~金) 9:00~17:00(土)

※日曜日、祝日および12月29日~1月3日を除きます。
※メンテナンス等により予告なく変更する場合があります。
※電話番号は、おかけ間違いのないようご注意ください。

げんきな
カラダ
プロジェクト

あんしん
くらし
プロジェクト

げんきなカラダプロジェクト・あんしんくらしプロジェクト

みんなと一緒に健康をつくる「げんきなカラダプロジェクト」。
いえ、くるま、農業といった大切なものを支える「あんしんくらしプロジェクト」。
この2つのプロジェクトで、みなさまの豊かな生活づくりをサポートしていきます。

専用ホームページでは、健康増進や防災・減災等のサービスのご紹介、各種イベントのご案内、お役立ち情報などを掲載しています。ぜひご覧ください！

<https://service.ja-kyosai.or.jp>



くらしの保障、相談するなら



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

23481050103

稲大豆の技術対策（8月）

J A全農とちぎ 米麦部

水 稲（早植えコシヒカリ）

1 水管理

出穂期・開花期は水を最も必要とする時期なので、不足しないようにこまめに間断かん水を行います。出穂期から20日間の水温・地温を下げることで、胴割粒・白未熟粒の発生が少なくなります。出穂期後30日までは水を切らさないように間断かん水（特に、気温が下がる夕方から夜間にかん水）を続けましょう。その後も高温・多照が続く場合は、収穫7～10日前まで走り水を行います。台風通過後のフェーン（高温・低湿）時は入水し、根を健全に保ちます。

2 斑点米カメムシ類の防除

斑点米を防止する防除適期は第1回が出穂後7～10日、第2回は第1回目防除時期からさらに7～10日後。常発地では2回防除が必須です。

3 適期収穫

刈遅れは胴割れ米多発の主な原因です。

収穫適期の目安は、出穂期からの積算気温1,000～1,100℃、帯緑色もみ率（黄緑色のもみの割合）が10～3%、葉や枝梗は緑色でも、籾はすでに黄変して刈取適期を過ぎている場合があります。暦で判断するのではなく必ず帯緑色籾率で判断しましょう。早植えコシヒカリでは出穂後36～46日ですが高温年ではさらに早まります。近年は8月が高温で経過した年は9月初旬から収穫適期を迎えることがあります。

9月に入ってからあわてて準備するのではなく、適期に作業を始められるよう8月中にコンバインの準備をすませておきましょう。

葉色ではなく籾の色を見て判断する！！
葉は青々としているが、籾は刈取適期を過ぎている



大 豆

1 ベと病の防除

「里のはほえみ」は、べと病が発生しやすい品種ですので、注意しましょう。開花10日前～子実肥大期に、発病が見られたら早めに薬剤防除しましょう。発生が拡大する場合は、開花40日後までの早い時期に追加防除しましょう。



2 吸実性カメムシ類の防除

本県で最も減収並びに品質低下が大きい時期と病虫害は、子実肥大中期（9月上旬）のカメムシ類による吸汁害及びマメシンクイガ等による食害です。

また子実肥大後期の吸汁害は機械選別も困難で、ほ場内成熟むらの一因にもなっていることから、9月上旬から中旬は水稻収穫作業との作業競合もありますが、この時期の防除を怠らないことが大切です。

平年における標準的防除時期としては開花10日前（7月下旬）、開花期の15日後（8月中旬）、開花期25日後（8月下旬）、開花期40日後（9月上旬）の4回で、病虫害の発生が多い場合は開花期50日後（9月中旬：子実肥大後期）にも防除します。

加工・業務用たまねぎ 出荷者募集！



加工・業務用たまねぎは、平成28年産から作付けの推進をしており、現在は鉄コン出荷をメインに取り組みを進めています。

1. 特徴

- ◆取扱品種：加工・業務に適した**貯蔵性の高い品種（中～晩生）**
- ◆価格が事前に決定しています！
（令和5年産価格：57円/kg）
- ◆出荷経費（運賃、コンテナ代）はかかりません。
※契約販売のため、事前に出荷量の把握をさせていただきます。
- ◆鉄コン出荷で、規格はM以上（規格適合品に限る）。
※等階級の選別は不要です。
- ◆**出荷取り纏め期間：令和5年11月～12月頃（目安）**
- ◆**出荷販売時期：令和6年6月中下旬～8月上旬予定**



2. 作型（目標単収5t）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目									播種 ○	定植 △	生育期間 ■	
2年目						収穫 ∧						
	○ 播種	----- 苗床期間	△ 定植	■ 生育期間	∧ 収穫							

3. 販売額（10aあたり）（参考）

販売額：285,000円（税別）（目標単収：5t / 10a）
費用：100,000円（主な経費：種子・肥料農薬）
※その他資材代・燃料費・人件費等を除く

※令和6年産の出荷を希望・検討されている方は、
お気軽にご連絡ください！



© 栃木県 とちまるくん

【問合せ先】 全農とちぎ 担い手支援課（担当：大橋） TEL:028-616-8838

とちぎの花を飾ろう！

JA全農とちぎのHP内にて
とちぎの花を扱っている
「とちぎの花販売協力店」を紹介しています！！



黄色のPOPが目印です♪

この時期オススメのとちぎの花



輪菊



スプレーマム



ユリ



バラ



@zennoh_tochigi_flower

とちぎの花

#とちぎの花 #tochigi_flower

公式Instagramはじめました！

ZTF

zennoh tochigi flower



JAグループ栃木 / JA全農とちぎ

活性
フルボ酸
(腐植酸)
高配合！

腐植酸液状複合肥料

レコルト

作物別施用時期 一覧表

果菜類②

レコルト

腐植酸液状複合肥料



作物の活力
UP!

JAグループ 製造 デンカ株式会社 Denka

正味重量：1kg



こんな方におすすめ！

(期待できる効果)

- ストレスによる作物のダメージを軽減させたい
(猛暑・豪雨・塩類集積 など)
- 作物を元気にし、収量を安定させたい
- なり疲れを軽減させたい
- 定植時の根の活着を良くしたい



葉面施用・土壌施用どちらもOK!



野菜、果樹、花卉、穀類(米、麦、大豆)
あらゆる作物で使用可能!



詳しくはレコルト特設サイトで

効果が分かる施用事例も多数で紹介しています。
ぜひご確認ください!



使い方

用途	推奨希釈倍率	頻度・回数
葉面施用	500倍	1~2週間毎に1回
通常かん水	1,000~2,000倍	1~2週間毎に1回
育苗	1,000~2,000倍	育苗初期・定植前

成分表

保証成分			含有成分
全窒素	水溶性りん酸	水溶性カリ	フルボ酸
1%	0%	8%	3%

※含有成分は当社の分析値であり、成分を保証するものではありません。

フルボ酸とは？

すべてのpH条件下で水に溶ける腐植物質です。一般的に、特に植物への活性が高いと言われています。

提供 JAグループ 製造 デンカ株式会社 Denka

斑点米の原因となるカメムシ対策に！ 殺虫剤ラインナップと上手な使い方

斑点米カメムシはイネが出穂すると畦畔や雑草地から水田に飛来し、本田内で籾を吸汁することで被害をもたらします。

斑点米被害を防ぐためには、水田にカメムシ類が近寄りにくい環境を作ることに加え、『薬剤による効果的な防除を行うこと』が重要です。



斑点米カメムシ（例）



カメムシによる斑点米被害粒

斑点米は等級低下に直結します!!

～斑点米カメムシ対策に有効な薬剤例～

製品				
製品名	スタークル液剤10	エクシードフロアフル	キラップフロアフル	トレボンEW
有効成分	ジノテフラン	スルホキサフロル	エチフロール	エトフェンフロックス
I-RACコード	4A	4C	2B	3A
希釈倍数	1000倍	2000倍	1000～2000倍	1000倍
使用液量	60～150L/10a	60～150L/10a	60～200L/10a	60～150L/10a
使用時期	収穫7日前まで	収穫7日前まで	収穫14日前まで	収穫14日前まで
本剤の使用回数	3回以内	3回以内	2回以内	3回以内
有効成分を含む 農薬の 総使用回数	4回以内 (育苗箱への処理及び側 条施用は合計1回以内、 本田での散布、空中散 布、無人航空機散布は合 計3回以内)	3回以内	2回以内(は種時(直播)又は 移植時までの処理は1回以内)	3回以内
無人航空機による散布	希釈倍数:8倍 使用液量:0.8L/10a	希釈倍数:16倍 使用液量:0.8L/10a	希釈倍数:8～16倍 使用液量:0.8L/10a (無人ヘリコプターによる散布)	

～薬剤の適正使用で確実な防除を！～

- 稲の生育にあわせて、十分かかるよう散布量を調整しましょう！
- 乳熟期初期（出穂期7～10日後）に散布しましょう！
- 複数回の散布をする場合は、系統の異なる剤を選択しましょう！

※殺菌剤との混用については、お近くのJAにお尋ねください。

※周辺の作物等にかからないよう注意して散布しましょう。

農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

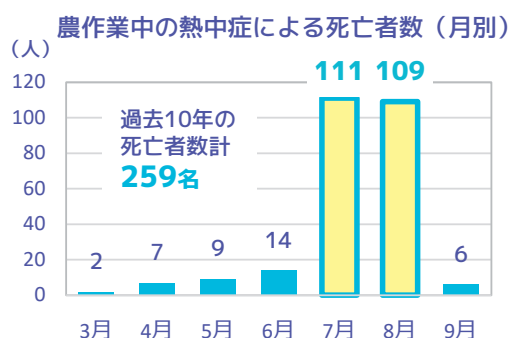
農業者の
みなさまへ

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

- 毎年、約**30名**の方が農作業中の熱中症により**死亡**
- 死亡事故の約**85%**が**7～8月**に発生している一方で3～6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!

農林水産省





2023年新商品！

ピンドット
ヤケーヌ

WH307/309/319
ブラック/ピンク/
オフホワイト



顔の熱を奪う!!
夏用マスク

ヤケーヌ
爽クール

WH517/518/519
ベージュ/ライト
グレー/ネイビー

お買い求めはお近くのJA店舗まで！

【お問合せ先】JA全農 東日本生活事業所 栃木推進課 TEL: 028-616-8855



野生を食べる 161 アオミズ

ミズという山菜がある。東北では有名であり、山菜シーズンの終わりごろに直売所などで沢山売られている。株元が赤いのでアカミズともいわれ、植物学的にはウワバミソウというのが正しい。アオミズという山菜もある。株元が青いからだが、正しくはヤマトキホコリという。少し標高の高い沢沿いに見られ、私的にはこちらのほうが山菜としての評価は高い。ところが、植物学的和名がアオミズというものがある。姿、形もよく似ており、これがどうして食材としての評価がされなかったかが不思議だ。今回はこれを検討する。



料理メモ

アオミズは谷地田の小川沿いのような場所に生育する。地味な花が夏に咲くので目立たない。だいたい、暑い夏の平地の湿地にやぶ蚊に刺されながら歩く人などいない。だから知る人は少ない。引き抜くと写真右のようにしっかりとした長い茎があり、食べられそうだ。まず、先端の若い葉を「天ぷら」（写真1）にした。やや青臭く独特の風味であったが食べられなくもない。茎は茹でてみると結構硬く、くせも強かったので長く水にさらした。写真2は油揚げとの「煮びたし」だが美味しくない。写真3は味濃く「キャラプキ」風にしてみたが、最後まで筋っぽい。食用可というには疑問が残る。

(aida)



写真1



写真2



写真3

編集後記

梅雨が明け、夏本番を迎えました。私の実家では梨の収穫が始まろうとしています。今年は晩霜の被害もなく、順調に収穫時期を迎えることが出来ました。収穫期は短いですが、多くの方に栃木県の梨を食べていただきたいと思います。梨には疲労回復効果がありますが、水分が多いので食べ過ぎには注意しましょう！（金田）

発行：JA全農とちぎ 担い手支援課

TEL 028-616-8838

FAX 028-616-8819

生産者のみなさまへ

LINE@

友だち募集中!

ID: @jetochoisaposen

コードを読み取るか、IDで検索

担い手サポートセンターが
生産者のみなさまを
LINEを通してしっかりサポート!

スマホで読める!

災害情報をいち早く確認!

肥料情報やイベント情報をお届け!